

CMS機能要件一覧表

<p>≪必須項目≫要件区分が「必須」となっているもの 必須項目は絶対要件であり、本業務の委託費用内で実現可能なこと。 (パッケージ標準、オプション、カスタマイズなどの内容は問わない) ※代替案により実現可能な場合は対応欄に「△」を記入し、備考欄に代替案の実現方法を記入すること。</p> <p>≪推奨項目≫要件区分が「推奨」となっているもの 推奨項目は、絶対要件ではなく、以下の3つの区分で、実現可否を記入すること。 ○: 本業務の委託費用内で実現可能な場合(パッケージ標準、オプション、カスタマイズなどの内容は問わない) △: 代替案により本業務の委託費用内で実現可能な場合(備考欄に代替案の実現方法を記入すること) ×: 上記「○」「△」以外の場合(不可能な理由を備考欄に記入すること) ※1つの項目内の要件で、一部のみ「×」となる場合は「×」を記入すること。 ※本業務の委託費用内で提案などがある場合は、備考欄に記入すること。</p>			
---	--	--	--

1. 基本要件		要求区分	対応	備考
基本要件	1-1 導入するCMSは、過去に国、都道府県、市区町村などの自治体において導入実績がある製品であること。	必須		
	1-2 CMS利用にあたって、各職員のクライアント端末に特別なアプリケーションなどをインストールすることなく、ウェブブラウザから利用できること。	必須		
	1-3 各職員のクライアント端末から、ブラウザを通して、ID、パスワード認証にてログインできること。	必須		
	1-4 各職員のクライアント端末のブラウザは、Microsoft Edge、Firefox、Google Chromeのいずれでも利用が可能であり、職員が作成・更新・管理業務が行えること。	必須		
	1-5 IPアドレス制限や多要素認証(二段階認証)などのセキュリティ設定が可能であること。	必須		
	1-6 端末台数やユーザー数、ページ数やテンプレート数の増加により、ライセンス料が変動しないこと。	推奨		
	1-7 ユーザー全員に個別のID、パスワード(原則として8ケタ以上)を付与できること。	推奨		
	1-8 データと表示スタイルを完全に分離し、表示スタイルはすべてスタイルシートで管理すること。	必須		
	1-9 生成されるコンテンツデータ(ページ)については、HTML Living Standard(旧HTML5)以上の規格に準拠し、Web標準に配慮した文書構造を持つこと。また、アクセシビリティツールによる、コンテンツの音声読み上げ機能に対応していること。	必須		
	1-10 UTF-8の文字コードに対応すること。	必須		
	1-11 公開サーバに表示されるファイルは静的なHTMLであること。ただし、動的に表示させることが望ましいページがある場合は、その限りではない。	必須		
	1-12 閲覧者が画面をA4縦型で印刷する際、ブラウザやOSに関わらず内容が損なわれずに印刷できること。	必須		
デザイン	1-13 サイト全体として、統一化されたページデザインで作成すること。	必須		
	1-14 大規模災害時や選挙、市を挙げてのイベントなどの際に、トップページへ重要なお知らせを表示する機能を有すること。	必須		
	1-15 大規模災害時や選挙、市を挙げてのイベントなどの際に、トップページ以外のすべてのページへ重要なお知らせを表示する機能を有すること。	推奨		
カテゴリ分類	1-16 カテゴリ分類ごとにカテゴリトップページを作成すること。	必須		
	1-17 ページ作成時に、掲載するカテゴリ分類を選択できること。なお、1つの記事ページについて複数のカテゴリ分類を登録できること。	必須		
	1-18 作成済みの記事ページを、別のカテゴリ分類に移動させられること。	必須		
	1-19 記事ページごとに付与するカテゴリ分類は異なる視点に基づいた分類属性を付与できること。たとえば、目的別視点と対象別視点など異なる視点の分類に付与できること。	必須		
	1-20 カテゴリ分類は大一中一小カテゴリといった一方通行的なものだけでなく、必要に応じて、逆引きもできるよう設定可能であること。	推奨		

2. ページ作成機能		要求レベル	対応レベル	備考
基本的な仕様	2-1 テンプレートを選択することで、統一したデザインの記事ページ作成が可能なこと。	必須		
	2-2 公開側のページ(ヘッダ、フッタ含める)のイメージのまま直接編集ができる機能を有すること。	推奨		
	2-3 見出し、本文、画像、添付ファイルなど、構成要素をパーツとして追加し、ページの作成が行えるパーツ登録の機能を有すること。	必須		
	2-4 使いやすいメニュー画面になっていること。	必須		
	2-5 作成した記事ページの定位置に、ログインしたユーザーの担当課情報(課室名・電話番号・メールアドレスなど)が自動的に記載されること。	必須		

	2-6	記事ページ作成完了時、必須項目に未入力があった場合、警告を表示しスムーズに修正できること。	必須		
	2-7	記事ページのレイアウト、および記事内容はコピーして再利用ができること。	必須		
	2-8	作成途中の記事ページを一時的に保存し、再ログイン後に編集を再開できること。	必須		
他データの流用・表の編集	2-9	Word、Excelデータをコピー＆ペーストできること。	必須		
	2-10	Word、Excelデータから取り込んだ(もしくはコピー＆ペーストした)表は、再編集できること。行や列の追加・削除、見出しセルの設定、幅の指定などが、ソースコードを直接編集することなく、容易に操作できること。	必須		
	2-11	表を新規で作成できること。行や列の追加・削除、見出しセルの設定、幅の指定などが、ソースコードを直接編集することなく、容易に操作できること。	必須		
画像	2-12	簡易な操作でクライアント端末やCMSサーバ上にある画像を掲載・参照し、変更できること。	必須		
	2-13	画像に説明やリンクをつけられること。	必須		
	2-14	画像の代替テキスト(alt属性)の未入力を防ぐために警告が表示されること。	推奨		
	2-15	画像にコピーライトの表示ができること。	推奨		
添付ファイル	2-16	記事ページにWord、Excel、PDFなどの各種文書ファイルをリンクできること。	必須		
	2-17	リンクした文書ファイルの種類(Word、Excel、PDFなど)、サイズが自動で表示されること。	推奨		
	2-18	PDFをリンクした場合、Adobe Readerのダウンロードを促す案内が、自動で表示されること。	推奨		
	2-19	ダウンロードファイルのリンクは、任意の場所に表示できること。	必須		
リンク	2-20	内部リンク・外部リンクを設定できること。	必須		
	2-21	記事ページのURLは、一覧画面や編集画面でわかりやすく表示されていること。	推奨		
	2-22	リンク先が外部サイトだった場合は、別ウィンドウで開くことができること。	必須		
	2-23	公開前(未承認)の記事ページに対してリンク設定ができること。(新規に作成した記事記事ページのアドレスが公開前に確認できること。)	必須		
	2-24	記事ページ公開開始時に、パンくずリスト、指定したカテゴリインデックス、ローカルナビゲーション、およびサイトマップにページタイトルをリンク名としたリンクが自動生成され、公開終了時にそれらが自動削除できること。	必須		
地図	2-25	Googleマップを利用した地図機能を埋め込み・掲載ができること。	必須		
動画	2-26	CMSで作成する記事ページ内に、YouTubeなどの動画配信サイトに掲載した動画を埋め込み再生できること。	必須		
	2-27	さまざまなサイズやファイル形式で動画の登録・配信が簡単に行えること。ただし、Youtubeなどで配信できないファイル形式にかぎる。	必須		
記事ページの公開・削除・再利用	2-28	各課室の作成者が公開開始・終了日時を入力することで、指定した日時に記事ページの自動更新ができること。	必須		
	2-29	公開期限は、年月日のほかに分単位で時間指定できること。	必須		
	2-30	公開時間を指定しない記事ページの場合は、即時公開の設定ができること。	必須		
	2-31	公開期限を無期限とする設定ができること。	必須		
	2-32	すでに公開されている記事ページを未来の日付で更新する場合は、現在の記事ページを直接編集し日時設定することで、予定の日時に記事ページが自動更新されること。	必須		
	2-33	記事ページに公開日、または最終更新日が自動的に表示されること。ただし、任意の日付に置き換えができること。	必須		
	2-34	記事ページの公開・更新を行った際、記事ページが所属するカテゴリ、および所属トップ記事ページの内容も自動で更新(タイトルの後ろなどに更新日を自動挿入)されること。	必須		
	2-35	記事ページを公開サーバから削除する際、記事ページが所属するカテゴリ、および所属トップ記事ページに表示された文章とリンクが自動削除されること。	推奨		
	2-36	記事ページを公開サーバから削除する際、HTMLファイルだけでなく、付属する画像ファイルやPDFファイルなども同時に公開サーバから自動削除できること。	推奨		
	2-37	記事ページを公開サーバから削除する際、対象の画像やPDFなどのファイルが、削除対象ではない記事ページからリンクされた状態にある場合、サーバ上に残ること。	推奨		
	2-38	公開が終了した記事ページは再利用できるようにCMSサーバに保存できること。	必須		
	2-39	CMSサーバに保存されている記事ページを一覧から選択・複写し、新規記事ページを作成できること。	必須		
2-40	公開が終了した記事ページの一覧を表示でき、一括、または選択してCMSサーバから削除できること。	必須			
プレビュー	2-41	プレビュー機能があること。また、パソコン版およびスマートフォン版のプレビューを表示できること。	必須		

3. 自動更新、自動生成機能					
----------------	--	--	--	--	--

			要求レベル	対応レベル	備考
新着リンク	3-1	記事ページ作成時に、指定する新着情報エリア(トップページ、所属トップページ、カテゴリトップページ、サブサイトトップページなど)へ掲載の有無を設定でき、公開されるタイミングで自動掲載されること。	必須		
	3-2	新着情報に掲載した情報は、自動的に掲載した日付の降順で表示され、表示しきれない情報は、新着情報一覧ページに別途表示できること。	必須		
	3-3	トップページの新着情報に表示する記事ページはサイト管理者の承認が必要となるよう、通常とは異なる承認ルートを設定できること。	推奨		
ナビゲーション	3-4	すべてのページにトップページへ戻るリンクを設定し、統一した所定の位置に表示すること。	必須		
	3-5	各ページに、パンくずリストを自動生成できること。	必須		
	3-6	パンくずリストは、閲覧者がサイト内を閲覧したページ順に表示ができ、表示件数は設定できること。	推奨		
	3-7	各ページにグローバルナビゲーション・ローカルナビゲーションを自動生成できること。	必須		
	3-8	サイトマップを自動生成でき、再編集できること。	必須		
	3-9	Googleにクローラさせるためのサイトマップ用XMLファイルを自動で作成・更新できる機能を有すること。	推奨		
	3-10	対象ページが公開された際、ナビゲーションも自動更新され、公開終了時にはそれらを自動的に削除すること。	必須		
RSS	3-11	サイト全体あるいはカテゴリごとの新着情報を、RSSフォーマットで出力できること。	必須		
	3-12	市が指定するページに、外部サイトからRSSで配信される情報を表示できること。	必須		
	3-13	記事ページやサブサイトのページに、各所属担当者の作業にて外部サイトからRSSで配信される情報を表示できること。表示は容易な操作で行え、表示件数の設定ができること。	推奨		
イベントカレンダー	3-14	各イベント情報の記事ページにリンクが設定されたイベントカレンダーが自動生成でき、各所属が入力したイベント情報を月ごとに集約表示できること。	推奨		
	3-15	記事ページ作成時に、イベントカレンダーへの掲載の有無を容易に設定でき、公開されるタイミングで自動掲載されること。	推奨		
	3-16	定期的なイベント開催などの場合、一度の記事ページ作成で複数表示できること。表示は、日、週、月、年などで設定できること。	推奨		
	3-17	イベント開催情報を、Googleカレンダー、およびYahoo!カレンダーに任意に自動投稿できること。	推奨		

4. マルチデバイス対応					
			要求レベル	対応レベル	備考
スマートフォン用サイト	4-1	レスポンスWebデザイン等のようにパソコンやスマートフォン等各端末に最適化されたレイアウトで表示されること。	必須		
	4-2	スマートフォンで閲覧する際、最適化されたレイアウトで表示されること。	必須		
	4-3	スマートフォンの利用シーンを想定した、専用のトップページを作成すること。	必須		

5. サイト管理者の管理機能					
			要求レベル	対応レベル	備考
基本機能	5-1	複数ユーザーが同時にログインできること。	必須		
	5-2	各担当者や所属部署により、コンテンツのグループごとに編集権限を設けることができること。	必須		
	5-3	ログインするユーザーIDにより、それぞれの権限に応じた画面が表示されること。	必須		
	5-4	作成者は、作成した記事ページを所属部署ごとに集約して表示できること。	必須		
サイト管理者の権限	5-5	サイト管理者は、サイト内のすべてのページを編集する権限があること。	必須		
	5-6	サイト管理者は、CMSに登録されている全ページの情報(ページタイトル、階層構造、ディレクトリ)をCSVなどに出力できること。	推奨		
	5-7	サイト管理者は、カテゴリの追加・変更・削除、記事ページの振り分けができること。	必須		
	5-8	サイト管理者は、すべての記事ページの状態(作成中・承認待ち・公開中・非公開など)を一覧で確認でき、CSVなどに出力できること。	必須		
	5-9	サイト管理者は、入力禁止文字の登録・変更・削除ができること。	推奨		
ユーザー管理	5-10	サイト管理者は、ユーザーの登録・更新・削除を行えること。また、ユーザーの操作権限・ID・パスワードなどの管理ができること。	必須		
	5-11	サイト管理者は、登録済みのユーザー情報をCSVなどに出力できること。また、事前にExcelなどのデータで作成したCSVなどを利用してユーザー情報をCMSに取り込めること。	推奨		

	5-12	サイト管理者は、人事異動時に伴うユーザーの所属変更を、事前にExcelなどのデータで作成したCSVなどを利用して簡単にできること。また、年度末などの指定された日付で変更を適用できること。	推奨		
	5-13	サイト管理者は、ユーザーの操作履歴(ページの公開・削除、操作日時・操作者・操作ページ・操作内容など)を確認でき、CSVなどに出力できること。	必須		
組織管理	5-14	サイト管理者は、組織情報(部署・施設名、問い合わせ先情報など)の管理ができること。	必須		
	5-15	サイト管理者は、登録済みの組織情報をCSVなどに出力できること。また、事前にExcelなどのデータで作成したCSVなどを利用して組織情報をCMSに取り込み、組織改正などに簡単にできること。	必須		
	5-16	サイト管理者は、所属の統廃合・追加・問い合わせ先変更など、組織改正による情報更新を事前に予約でき、年度末などの指定された日付で変更を適用できること。	推奨		
	5-17	サイト管理者は、組織改正時に記事ページの移動(所属カテゴリの変更)などが簡単にできること。	必須		
災害管理	5-18	災害や断水などの緊急時、トップページの目立つ位置に災害情報を配信できること。	必須		
	5-19	大規模災害などの緊急時向けトップページのテンプレートを作成すること。	必須		
	5-20	サイト管理者は、簡易な操作で災害時用トップページに切り替えられること。	必須		
	5-21	スマートフォン版のトップページも切り替えられること。	必須		
バナー広告	5-22	トップページ・カテゴリトップページなど、任意のページの市が指定する位置に、複数のバナー広告を表示できること。	必須		
	5-23	サブサイトに複数のバナー広告を表示できること。	推奨		
	5-24	サイト管理者のみがバナー広告を管理・掲載・削除でき、特別な知識がなくても容易に操作できること。	必須		
	5-25	掲載期間を設定することで、あらかじめ登録しておいたバナー広告を自動的に掲載開始・終了できること。	必須		
	5-26	バナー広告の表示数は、容易に変更できること。	必須		
	5-27	画像データは、JPEG・GIF(透過GIF・アニメーションGIF)・PNG・BMPが使用できること。	必須		
	5-28	画像バナーに限らず、テキストバナーも容易に掲載できること。	必須		
	5-29	バナー広告の空きスペースには、「募集中」などの代替画像を表示できること。	必須		

6. 承認ワークフロー					
			要求レベル	対応レベル	備考
基本仕様	6-1	作成者からサイト管理者への承認ルートがあること。	必須		
	6-2	管理の対象ごとに異なった承認ルートを設定することができ、上限は設けないこと。	推奨		
	6-3	サイト管理者は、承認ルートの変更や追加を操作で行えること。	必須		
	6-4	サイト管理者は、すべての記事ページの承認状況を確認できること。	必須		
	6-5	サイト管理者は、再承認依頼を受けた記事ページの変更された箇所を視覚的に確認できること。	推奨		
	6-6	承認依頼時や差し戻し時に、連絡ができること。	推奨		
	6-7	作成者・サイト管理者は、所属の記事ページの承認状況を確認できること。	必須		
	6-8	サイト管理者は、承認依頼を受けた記事ページを差し戻す際、作成者向けにコメントを追記できること。	必須		
代理承認	6-9	サイト管理者が不在の時、代理承認などの手段によって記事ページが公開できること。	必須		
承認依頼中の修正	6-10	承認依頼中の記事ページを作成者自身がキャンセルし、記事ページ内容を再編集できること。	必須		
	6-11	サイト管理者は、承認依頼を受けた記事ページを上書き編集できること。	必須		

7. その他の機能					
			要求レベル	対応レベル	備考
多言語対応	7-1	英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語の3カ国以上の言語に対する自動翻訳システムを導入すること。	推奨		
	7-2	別に作成した、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、タイ語、ベトナム語、ラオス語、カンボジア語のテキストデータをCMSに取り込んで、正常に表示できること。	推奨		
アクセス解析	7-3	ページごとのアクセス件数、検索キーワードなどが取得できること。	推奨		
	7-4	閲覧者の使用するブラウザ・OS・モニタサイズが集計できること。	推奨		
	7-5	閲覧者の接続ポイント(都道府県)が集計できること。	推奨		

	7-6	解析結果は、CSVファイルなどで保存・出力できること。	推奨		
	7-7	庁内LANからのアクセスと外部からのアクセスを区別して集計できること。	推奨		
サイト内検索	7-8	キーワードでサイト内のページが検索できるよう、検索の入力フォームを全ページに配置すること。	推奨		
	7-9	キーワード完全一致の検索だけでなく、表記の違いがあっても検索結果が表示される同義語検索機能が備わっていること。	推奨		
	7-10	ページのみ、PDFのみに絞った検索や、分類を選択した検索ができること。	推奨		
	7-11	広報誌などに付与された記事IDや記事番号を入力してページを検索できること。	推奨		
	7-12	サイト内と別サーバで稼働している本市関連ページ内の検索ができること。	推奨		
	7-13	検索結果のページは、サイト内の他のページと同様、同じ体裁のヘッダー、フッターを表示させ、閲覧者には、別のサイトに移動してしまったという印象を与えないようにすること。	推奨		
	問い合わせ	7-14	すべての記事ページに、その記事ページに関するSSLに対応した問い合わせフォームを挿入でき、閲覧者が意見・問い合わせなどを簡単に送信できること。	推奨	
7-15		投稿者が送信前に入力内容を容易に確認できること。	必須		
7-16		投稿者からの問い合わせに対し、メールで回答できること。	必須		
FAQ機能	7-17	テンプレートを用いて、カテゴリ別表示が可能なFAQページ(よくある質問ページ)を容易に作成・更新・削除できること。	必須		
	7-18	FAQページ(よくある質問ページ)には、関連ページへのリンクや問い合わせ先を容易に設定できること。	必須		
	7-19	関連ページや問い合わせ先が変更・移動・削除された場合は、自動で修正できること。	必須		
	7-20	カテゴリによる検索が可能であること。	必須		